

「政幸だより」6月送付分



厚生労働委員会で質問に立ちました

参議院議員・薬剤師 神谷政幸

今国会で「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案」が審議され、令和5年4月25日（火）の参議院厚生労働委員会で質問に立ちました。

委員会では、改正法案の政府の考え方、後発医薬品の安定供給と業界の産業構造の改善や課題、重複投薬・多剤投与の適正化と電子処方箋の活用、電子処方箋の運用状況と薬剤情報の調剤現場における活用環境、医療法人・介護サービス事業者の経営情報の収集と病院薬剤師の確保・処遇改善等について質問を行いました。

後発品の安定供給問題では、薬局や医薬品流通業の現場の疲弊はピークに達しており、一刻も早い状況改善が必要であることを訴えました。また、日本製薬団体連合会による「医薬品の供給状況にかかる調査」が毎月報告となった予算対応は評価するものの、現場は検索する時点で当該医薬品の供給が無い状況に直面していることから、オンタイムで状況が把握できる必要があることと、医療上重要な製品にも限定出荷がかかっている現状を踏まえ、「供給状況の見える化による医薬品の安定供給確保」を確実に進めるよう要望しました。

厚生労働委員会で行ったそれぞれの質問については、項目毎に動画をYouTubeにアップしました。短いものは2分ちょっとで視聴可能です。下のQRコード、若しくは「神谷まさゆき」で検索していただき、興味のある項目をご覧ください。



20230425 厚生労働委員会で質問(YouTube)

